

# 雨量信号変換器 GS-1215 (接点パルス→アナログ積算電圧変換器)

ジオテクサービス株式会社 2015/08/06

## ■特徴



- 雨量計から出る接点信号をカウントし、アナログの電圧値に変換して出力します。
- 12V バッテリーで動作し、電源供給がない時間帯は、内臓電池でカウント続け、電源供給時に電圧を出力する、省電力運用が可能です。
- 雨量1カウントごとに10mVづつ出力電圧が上がります。最大カウント数は、255回と499回(出荷時設定)の切り替えが可能です。
- 高速パルスモードに切替れば、雨量計以外の早い周期のパルスカウントも可能です。



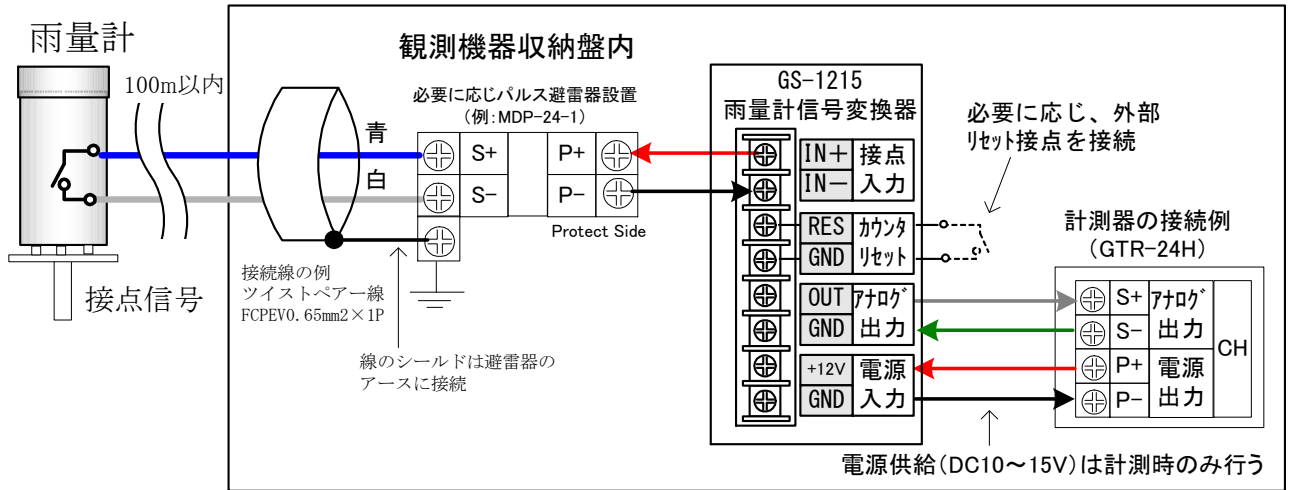
## ■主な仕様

項目	仕様
型式	GS-1215
種別	無電圧接点入力→アナログ積算電圧変換器
入力パルス信号	無電圧接点信号×40msec以上。接点には約3V×1mAの電流が流れます 注1) 入力端子の回路は、他の回路と絶縁されています。
リセット入力	無電圧接点入力(短絡すると出力電圧がゼロにリセットされます) 接点には約3~5V×1mA(ピーク時)の電流が流れます。
出力電圧	1カウント当たり0.01V=10mV増加
電源	DC10~15V 3.5mA(出力無負荷時)
内部電池寿命	通常雨量計測で10年以上(100万パルス以上) 但し、10Hz連続入力の場合、400時間程度
動作温度範囲	-10~+50℃(結露なきこと)
寸法・重量	W30×D77×H61(突起物を除く)、100g
【以下選択可能】 入力パルス間隔 [ジャンパーピンJP2]	JP2= OFF(右側) : 低速 5秒間隔以上(出荷時規定値) JP2= ON(左側) : 高速 0.1秒以上(最大10Hz) 注2) 高速に設定した場合に、接点が連続ON状態になると内部電池が短時間で消耗するので、通常は低速モードにて使用して下さい。
給電時の出力電圧 保持機能 [SW3-1]	OFF : 出力固定 12V電源供給時の出力電圧を保持(出荷時規定値)。 ON : 随時変化 パルス入力のたびに出力電圧は変化する。
最大カウント数 [SW3-2]	OFF : 499=0~4990mV、500カウント目で0mVに戻る(出荷時規定値)。 ON : 255=0~2550mV、256カウント目で0mVに戻る。
動作音 [SW3-4]	OFF : 動作音なし、 ON : 動作音あり(出荷時規定値)

## ■標準価格

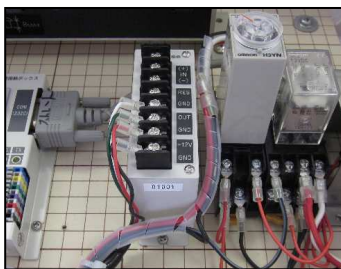
¥58,000円(税別価格) ※雨量計本体は別売となります。

### 【1. データロガーの接続方法】



フィールド計測における自動観測用データロガーへの接続例

### 【2. 制御盤への組込み方法】



①木板ベースに直接ネジ留め



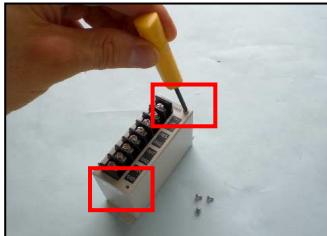
②DIN レールに取り付け



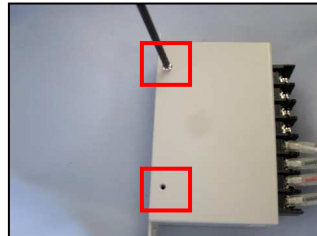
DIN レール取付け  
ベース板

※DIN レール取り付けベース板は省資源のため  
標準添付していません。必要な場合は  
注文時にお申し付けください。

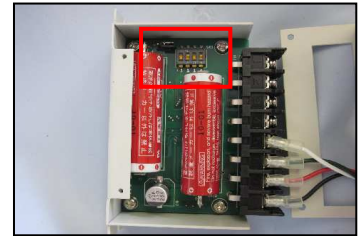
### 【3. 動作モードの設定変更手順】



上のネジを取り外し



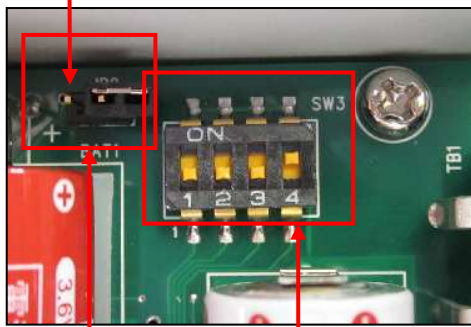
側面のネジを取り外し



カバーを外した状態

左のピンは未接続(ショートバーは右にある)

雨量信号変換器のスイッチ選択一覧表



ジャンパピンとディップスイッチの初期状態

スイッチ	名称	選択項目	スイッチ設定 (太字: 出荷時設定)	
			OFF	ON
DIP スイッチ 設定	SW3-1	電源中の 出力電圧の状態	<b>出力固定 (間欠給電)</b>	随時変化 (連続給電)
	SW3-2	最大カウント数	<b>499</b>	255
	SW3-3	未使用	<b>OFF</b>	-
	SW3-4	動作音	なし	<b>あり</b>
ジャンパ ピン (渡り)	JP2	入力速度 ※1	<b>低速 (左側ピン 開放)</b>	高速 (左側ピン 短絡)

※1 高速に設定した場合、接点が常に  
ONの状態になると、内部電池

が消耗する危険があるので、通常は「低速」動作にて御使用下さい。